# 西伊豆健育会病院

薮谷亨　医師

**功　　績**　健診部門への胃カメラ枠拡大により、受診者及び売り上げ増収及び地域住民への健康維持、早期発見、早期治療へ多大なる貢献をした功績

**推　薦　者**　健康管理室　岡部純也

**推 薦 理 由**　薮谷医師の着任により、健診胃カメラ検査の供給不足が解消し、受診枠の拡大と収益向上を実現出来ました。地域住民の健康維持、早期発見・治療に貢献し、健診業務の質も向上。今後の発展に不可欠な存在として理事長賞に推薦いたします。

## 内　容

薮谷医師は、令和5年1月より消化器内科専門医として当院に戻ってこられました。それまで健診胃カメラ対応は消化器内科専門医が土曜隔週で1名、常勤内科医が平日3日間を2名で実施、週3～4日で平日1日/1～2名、土曜1日/4～5名の検査をおこなっていた。

生活習慣病予防健診（以下：協会けんぽ健診）は胃部検査が必須項目で、希望者は年々増加傾向であったが、専門ではない医師で胃カメラ検査を多く実施することが難しく、供給不足の状況が続いていた。薮谷医師が着任と同時に内視鏡専門医が退職したこともあり、薮谷医師に健診での胃カメラ検査需要を説明し、相談したところ、カメラ枠の拡大を快く引き受けていただいた。当初は胃カメラ2台で週3日（1日は別の医師/最大2～3名）薮谷医師は週2日、1日最大4名へ拡大、その後、薮谷医師からの要望もあり、胃カメラ1台を追加購入、計3台で1日最大5名へ増枠、また隔週で土曜日の枠も設けていただき薮谷医師で週3日最大15名、健診繁忙期など約4か月間はフルで実施いただいている。

薮谷医師着任後の2年間の実績は、129件も増加し、売り上げは150%となった（医師2～3名の実績）。

下部内視鏡検査に関しても、住民大腸がん検診の二次検診等で、着任前は最高件数102件だったところ、着任後1年目143件、2年目148件を薮谷医師が実施。

外来、入院患者への対応また当直業務等で多忙の中、健診実績増収及び地域住民の健康維持、早期発見、早期治療へも多大なる貢献をしていただいております。